

## 会 議 録

会議名 (審議会等名)	平成 25 年度第 3 回小金井市廃棄物減量等推進審議会		
事務局 (担当課)	小金井市ごみ対策課		
開催日時	平成 25 年 12 月 25 日 (水) 午後 2 時から午後 4 時まで		
開催場所	小金井市役所本庁舎 3 階第 1 会議室		
出席者	委員	<出席者：13 名> 大江会長・松村副会長・加藤委員・竹内委員・清水委員・多田岳人委員・多田典子委員・佐野委員・鈴木委員・勝又委員・簀口委員・北澤委員・渡辺委員 <欠席者：1 名>	
	事務局	中谷環境部長・小野ごみ対策課長・藤田ごみ処理施設担当課長・石阪中間処理場担当課長・秋元ごみ対策課長補佐・花野・井上・八方・佐藤・中村・吉田	
傍聴者の可否	可	傍聴者数	0
会議次第	1 開 会 第 2 回審議会会議録の確認について 2 議 題 (1) 一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画の一部変更について (諮問) (2) 一般廃棄物 (ごみ) 処理基本計画の一部変更について (審議) (3) 報告事項 可燃ごみ処理の状況等について (4) 平成 26 年度一般廃棄物処理計画の策定について (審議) 3 その他		
会議結果	別紙審議経過のとおり		
提出資料	別添のとおり		
その他	次回開催予定 平成 26 年 1 月 29 日 (水) 中間処理場事務所棟研修室 1		

審議過程（主な発言等）

大江会長	平成25年度第3回小金井市廃棄物減量等推進審議会を開催する。平成25年度第2回の会議録について修正・意見がなければ公開手続きを執るが宜しいか。
佐藤減量推進係主任	6頁の発言者波多野委員の名前を多田典子委員に訂正して頂きたい。
佐野委員	昨年度の審議会において、啓蒙という文言は啓発という文言に統一するということだったので、直した方が良い。
大江会長	<p>会議録については事務局の方で、確認して修正して頂きたい。</p> <p>では、議題に入りたい。議題(1)一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について（諮問）議題(2)一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について（審議）については、12月18日付けの案内で送付されている。この諮問を受けると本審議会で諮問内容について審議を行い、答申という形で市長に具申することになる。事務局からこのごみ処理基本計画の一部変更案の諮問について審議して頂き、本日中の結審をお願いしたいと聞いている。小金井市の大事な問題に係わる案件について変更が必要になり、しかも短期間で諮問答申が必要だということを伺っているの、事務局から説明を伺って、諮問を受けたいと思う。</p>
稲葉市長	(一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について（諮問）)
大江会長	内容について事務局から説明して頂きたい。
藤田ごみ処理施設担当課長	(一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更案資料説明)
大江会長	<p>稲葉市長だが、他の公務があるためここで退席する。</p> <p>(市長退席)</p>
加藤委員	<p>まずは、可燃ごみの共同処理について3市の覚え書きによると、周辺住民の理解を得て共同処理を進めるとなっているが、そのことについて市の見解を伺いたい。また、二枚橋の焼却場用地は平成22年3月に行政決定があったが解除されるということで理解しているのか。更に、今も府中の土地を取得したいという意向を持っているのかどうか。そして、3市共同処理は昨年11月に新聞発表されて驚いたが、この1年以上、市民への説明がなかった。市民に説明を行う責務が行政にあるのではないのか。市民説明についてどのように考えているのか。</p>
清水委員	<p>新旧対照表にある新の文章下線部分に平成31年度中の稼働を目指し、整備事業を実施しますとなっているが、目標期間の欄では、わざわざ整備事業の実施を推進に置き換えている。何か意味があって言葉を変更しているのか、主旨を説明して頂きたい。</p>

審議過程（主な発言等）

佐野委員	<p>新旧対照表にある旧を変えないとどういうことが起きるのか教えて頂きたい。旧の方で今回のことが対応できないのか。</p>
大江会長	<p>佐野委員からのご意見で新旧の文言を変えないとどういう不都合が起きるのか。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>我々の仕事は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律第6条の規定により一般廃棄物処理基本計画に基づいて行っているのですが、内容を変更しなければ日野市、国分寺市との3市共同処理はできないということになる。ここに記載がないことについてはできない。よって、今回諮問させて頂いた内容を変更しないと、新しいごみ処理施設の建設に関する事、例えば費用負担等ができなくなる。</p>
大江会長	<p>平成18年に作られたこの基本計画の時点では、今直面しているような動きは想定できなかった。当時、国分寺市は念頭にはあったが、旧には記載されていない。今新たに基本計画に基づいてやらなければならないので、今現在の基本計画の一部を変更しないと今後、行政の対応がスムーズにいかないということだと思う。</p>
佐野委員	<p>旧の文章に含まれているのではないかと。特定の市名を入れることによってこの事業が迅速に進むというのであれば理解できるが、書いていないことはやれないのであれば、基本的に含んでいるということではないかと。長期計画はこれだけが書いてあるわけではなく書かれていてもやられていないことも多い。その中で、これだけをやるとするのはどういうことなのか。</p>
中谷環境部長	<p>補足させて頂きたい。先ず、基本計画だが、10年スパンで作成しているが、法律では5年で見直すということになっている。本市の計画については、5年の見直しの延期をお願いしている。それは、第3節にある可燃ごみの新たな共同処理体制ということで、複数市との共同処理ということ想定しながら文言を記載していた。それを見直すに当たっては、動きがある中でしっかりとしたものを出したいという思いもあるが、なかなか根本的に手を入れられないという状況が継続していた。本市は広域支援をお願いしているわけだが、多摩地域ごみ処理広域支援体制実施要綱というものがあってその第16条では、協力が必要な事態として、ごみ処理基本計画に沿って施設を更新するような場合については、いつまでに更新が終わるので、その間お互い様ということで協力しているという内容がある。本市においては、その行く末がはっきり示せない中で16条の要件を満たせないということから、広域支援要綱を東京都や一部事務組合を含めて全団体全市で議論して22条の条文を作って頂いた。16条の中に定めがないことについては、東京都市町村清掃協議会、三多摩清掃施設協議会の協議を経て、人道的な支援については小金井市が独自に支援先を確保すればごみ処理についてはお願いができるという規定を作って頂いたという経過がある。それが22条だ。本市では、これまで可燃ごみについては22条の人道的な支援ということでお願いしていたが、本来は本則16条でやるべきだが小金井市が安定的な処理を平成26年度以降お願いすることに関しては、この</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>ごみ処理基本計画でより具体的なものがあれば記載することによって、16条を適用しながら本筋に戻った形で支援を行っていく方があるべき姿であろうという議論があった。そこで我々としては、この文言を直すタイミングでより具体的に記載できるのであれば記載したい。より具体的に共同処理のパートナーの在りようやいつ新しい施設ができるという記載できるところは日野市や国分寺市に迷惑を掛けない中で、より具体的に記載していくという思いから諮問をして答申を頂きたい。我々としては3市の共同化を進めていく本来の共同化の目的と併せて広域支援についてもより安定的に市民がごみ処理に困らないような形でごみ処理行政を進めていきたいということから、今回時間がない中で恐縮だが諮問させて頂いた。</p>
<p>大江会長</p>	<p>補足というよりこの説明があって初めて文言の修正が必要だったことが分かった。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>第5節可燃ごみの中間処理に関する取り組み項目②の取り扱いはどうするのか。</p>
<p>大江会長</p>	<p>22条から16条への問題も含みながら、ここに書くことによってより行政間の手続きを進めて行き易くなるし、予算的な面でも色々係わってくるということでこの案が出てきたと思う。それと併せて、先程加藤委員から質問があった。それに関連して委員の中で特に発言はないか。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>物事を分けて考える必要がある。日野市、国分寺市と一緒にやる環境を整えるために文章を直そうということを諮問している。それに付随して起きることは、別な話だと思う。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>答申をするということは我々にも責任がある。質問に対してはきちんと答えて頂きたい。答申するに当たっては、疑問質問に答える責務があると思う。付随するものも一対関係にある。諮問そのものを無責任な形で答申するわけにはいかない。</p>
<p>大江会長</p>	<p>無責任というのではなく、できるだけ状況を分かった上でということになると思う。清水委員の質問はいかがか。推進と実施をどう使い分けたいのか説明して頂きたい。</p>
<p>藤田ごみ処理施設担当課長</p>	<p>推進と実施の違いだが、今回3市で提出させて頂いている循環型社会形成推進地域計画に記載のある可燃ごみの共同処理を推進という文言を使用させて頂いた。</p>
<p>大江会長</p>	<p>特段の違いはないということだ。</p>
<p>多田岳人委員</p>	<p>一般的には、計画、推進、実施、完了の順番だと思うので、推進という後退というイメージがないのか。</p>

審議過程（主な発言等）

<p>中谷環境部長</p>	<p>実施という、行うというイメージの日本語になると思う。推進は、前に推し進めるという用語の解釈もあるので、整備事業を前に推し進めていくという意味で言葉的には理解して頂きたい。ただ、ご指摘のとおり、誤解を招くような表現であることは否めないが、3市の思いとしては、これを決めて実施していく、実行していくという日本語になると思うが、用語についてはご指摘の所は受け止めさせて頂く。いずれにしても、日野市、国分寺市と3市での可燃ごみの処理については、日野市は議会で予算を議決したということがあるので、そういった一定の動きを持った所で我々としてもそれを受け止めて、この用語については、更により実行に向けて進めていくというように総合的に解釈して頂ければと思う。</p>
<p>清水委員</p>	<p>実施するというのはかなり実現可能性も含めて、強い意志で取り組む言葉だと思う。推進というのは、多田委員の指摘のように少し弱い表現のように思える。努力して前へ進めようという少し引いた感じを受ける言葉だ。上の文章で整備事業を実施と言っているのに、敢えて推進に置き換える意図はよく分からない。用語として特段意義がないのであれば実施とすべきだと思う。上の文章との整合性も含めて場合によってはそこまで言い切れないのであれば上の文章を推進と言い換えてはいかか。</p>
<p>大江会長</p>	<p>上の文章では、年度が出てくるので推進、実施と重ねても良いと思う。下の表については計画を検討し、推進し、実施していくという流れだと思う。最後の実施というのは、書いていないが、ニュアンスとしては十分伝わっていると思う。</p>
<p>北澤委員</p>	<p>推進というのは、物事を推し進めていくということだが、実施になると計画を立てて何月までにやるという節を持ってやっていくという意味だと思う。清水委員の指摘のとおり整備事業の推進にこだわるのであれば上の文章も推進に統一した方が一番美しいと考える。そうしなければ実施と推進を分ける意味が分からない。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>前期、後期と書いているが、その中で実施はできないということもある。平成27年度までの計画の枠で実施できるのか。枠をきちんと定義することが大切だ。</p>
<p>大江会長</p>	<p>上の文章と下の表が整合していないということではないと思う。上の文章で平成31年度中の稼働を目指しとの記載があり、平成31年度までの計画であれば、実施も入ってくるだろう。平成27年度までの計画で前期、後期に分けた場合は、検討、推進と文言を整理していると考えられる。</p>
<p>加藤委員</p>	<p>旧の表で実施と書いてあることから、文章の整合としては実施だと思う。</p>
<p>大江会長</p>	<p>旧には年度が書いていないことから考えても、推進は意思を持って推し進める形なのでこれで良いのではないか。事務局の方で上の文章と整合して推進とした方が良いと考えるならそれも一つの修正案だがいかがか。</p>

審議過程（主な発言等）

藤田ごみ処理施設担当課長	<p>時間軸でいうと、今諮問させて頂いている基本計画の期間は平成27年度までで、実際に工事に着工するのは平成29年度からの予定だ。仮に推進と実施という言葉で分けるとするならば、平成29年度からが実施になると考えている。新しい施設を建設するためには環境アセスメントを2年半から3年やらなければならないので、今の基本計画の時間軸の中では実際に工場建設が始まるわけではないことから、下の表は推進という整理にさせて頂きたい。</p>
清水委員	<p>上の文章を推進に置き換えるということについてはいかがか。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>上の文章については、時間軸の中では平成31年度はこの計画の期間には入らないが、環境部長の説明にもあったとおり、この計画により具体的にいつ新しい施設ができるという年度を記載する必要があり、また、実際に工事に着工するのは平成29年度からであることも踏まえ稼働を目指し整備事業を実施という文章の整理をさせて頂きたい。下の表の推進に関しては、基本計画は平成27年度までだということも踏まえて、この間は推進という整理をさせて頂きたいと考えている。</p>
大江会長	<p>加藤委員から諮問・答申する上においてももう少し説明が欲しいと質問が先程あった。一方で、私は佐野委員が整理して頂いたとおり、基本計画に関しての大きな環境変化の中で必要になっているのであれば文言は文言として修正してその先に進み、それに付随して起きる内容について決定するのはその後で良いと考えるがいかがか。</p>
加藤委員	<p>今日のうちに諮問・答申という時間がない中なので詳しい説明は避けていいと思うが、一切答えないというのは問題だと思うので、簡単でいいので答えて頂きたい。</p>
渡辺委員	<p>日野市に3市共同で造るということはこの審議会で合意したということになるので、地元住民がどうなのかとか説明を受けたい。そうでなければ責任を持った答申にはならないのではないか。</p>
大江会長	<p>環境状況について行政側で説明をさせて頂きたい。</p>
中谷環境部長	<p>まずは、共同処理についての地元の方々の意向を含めての関連だが、反対の方々がいるのは新聞等の報道案内のとおりであるが、日野市におかれては地元の町会、自治会、地元の組織、市域全体に丁寧に説明していることは紹介されているとおりだ。ただ、全ての方々から賛同を得ている状況ではないということをおもも理解している。しかし、そういった中で、日野市は先の定例会で環境アセスメント及び基本設計の予算についての審議を頂いて、12月18日に議決している。我々も一定の民意ということで客観的に受け止める必要もあるかと思うということで経過報告とさせて頂きたい。</p> <p>二枚橋の行政決定の件だが、二つの行政決定が同時にあることが理解しがたいということが背景にあるのかと思うが、二枚橋で行うという今ある行政決定について、ここで申し上げられる状況にはない。3市で共同処理を推進してい</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>くと言っておきながら、二枚橋に同じ可燃ごみ処理施設を作っていくというのは無理が出てくることは承知している。しかるべきところで一定の庁内の協議を経た上で、何らかの形にしていくであろうと思うが、今いつ、どういった形で、どういった風になるというようなことは現時点では答弁できない。</p> <p>それに関連して、二枚橋の用地を調布市、府中市と本市の3市で所有権を持っている。府中市の土地の所有権を小金井市が取得する意向であるということは、昨年度のごみ処理特別委員会で副市長発言にあったとおりだ。取得をするという方向については、部局では理解している。</p> <p>最後にこの間の市民への説明だが、今年度もごみ対策課で市民説明会の予算を持っている。市民に説明する機会があるだろうことを踏まえた上で予算を持っていたことになる。ただ、現時点において、どのような形で市民に今の状況を説明できるかについては、混乱を招くような形ではいけないので、理事者等を含めて市民説明についてはどこかでやるべきという考えを持ってはいるが、現時点で、いつ、どのような形でという発言は控えさせて頂きたい。</p>
大江会長	<p>少しは状況が分かったので、こういう説明は大事だと思う。</p>
佐野委員	<p>二つの行政決定があることは非常に気になる。これは行政が自分達でやれば変えられるのか。二つあることが何に影響するのか分からない。それを一つにするための時期とか、こういうことができればこういうことができるというようなことも今の段階では分からないということなのか。</p>
大江会長	<p>多分、分からないということだろう。これから検討が必要だろう。</p>
中谷環境部長	<p>二つあるものを一つにするというのは、要因として色々な影響が出ることが想定される。今、二枚橋で行政決定しているものを取り下げるとなると、自ずとその用地についてはどのような形で使用していくのか等影響が出てくる。しかし、二つの行政決定が未来永劫続くということにはならないだろうという個人的な見解がある。今回諮問させて頂いている3市で共同処理を推進していくことを計画に盛り込んで、具現化具体化するために、整備事業を推進していくということでご理解頂きたい。また、先の行政決定は、国分寺市との話になるので、それを違う方向でということになるとそういった関係調整も入らなければならない。それらを含めてトータルで考えなければならないことをご理解頂きたい。</p>
加藤委員	<p>平成27年度以降については新しい基本計画を作らなければならず差し迫っている。今、色々なものがペンディングになっている。この二つの行政決定がこのままいくということは、ペンディングになっている施設の計画がまた動かなくなるという感じがあるので、早く決めていく必要があると思う。</p>
大江会長	<p>平成27年度基本計画については来年早々に始めていかななくてはならない。色々なことが錯綜している中で当面、今回の基本計画案に関して審議会として承認し答申を行い、この後の問題については、次の基本計画の中で、議論していかななくてはならない問題だ。今は、これまでの状況から良い方向への変化を</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>進めていき、次へステップアップしていくべきかと思う。もしそういう方向で支持して頂けるのであれば、今回慌ただしい中での諮問・答申となるが、答申させて頂いて進めさせてもらえれば有難い。答申させて頂いて良いか。</p>
佐野委員	<p>この諮問に対して、宜しいのではないかと表明したい。小金井市が置かれている状況は理解できる。ただ、今後審議会が決定したことがおかしかったということが起きないという保証がない限り、はいとはなかなか言えない。しかし、これをやらなければ先に進めないということも理解できるので、そのことも踏まえて考えた上で、これを進めることは宜しいのではないかと思う。</p>
清水委員	<p>先程加藤委員から第5節についてそのまま良いのかという質問があったが、加藤委員から見直すべきポイントがあるのであれば提案してもらって審議した方が良いのではないか。</p>
加藤委員	<p>この取り扱いを市は削除するのか、諮問に連動してやるのかについてお聞きしたい。</p>
大江会長	<p>矛盾しているのか。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>第5節は平成19年3月に二枚橋の焼却炉を止めた関係で、新たに追記させて頂いたものだ。一言でいえば、広域支援をやって頂くための文言だ。第5節可燃ごみの中間処理に関する取り組み項目②で新焼却施設の早期建設ということでこういうのを目指すので広域支援にご協力頂きたいと、この時にこういう考え方で作ったもので、特に今回変えなくてもごみ処理に影響はないという整理をさせて頂いて、今回の諮問には入っていないということである。</p>
大江会長	<p>特段、意見がなければこの諮問はこのままの形で答申させて頂きたいと思うがいかがか。</p>
委員各位	<p>（了承）</p>
大江会長	<p>では、答申させて頂きたい。 （小金井市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画の一部変更について（答申））</p>
稲葉市長	<p>時間のなかで諮問し答申を頂いたということで有難く思う。3市共同処理ということでまだ地元には反対意見がある。議会は議決を頂いたが、今後、覚書なり協定を結んで確かなものになるにはまだまだ時間が掛かる。そういう意味では、3市が足並みを揃えていかないと難しい状況になってしまう。私達も神経をすり減らしながら、議会や市民の皆様のご協力を頂きながら取り組んでいる。委員の皆様には市民の先頭に立って頑張っているわけなので、今後ご意見を訊くこともあろうかと思うが、状況を見ながら一緒に歩調を合わせていきたいと思う。皆様の期待に応えられるように頑張っていきたい。</p>
清水委員	<p>基本計画については、私達審議委員は一般市民としてその内容に特段の問題</p>



審議過程（主な発言等）

	<p>なしということでの審議結果だ。他市との共同事業実現に向けて努力して頂きたいし、他市の支援に感謝したいという市民としての声を何か表明できないのか。</p>
加藤委員	<p>ごみ減量により一層取り組むという、小金井のごみ減量努力も示していく必要があると思う。</p>
大江会長	<p>審議会としてはこういう気持ちで審議したということの表明をホームページ等を出して頂くということで整理したい。 それでは、議題（3）報告事項 可燃ごみ処理の状況等について説明を頂きたい。</p>
藤田ごみ処理施設担当課長	<p>（燃やすごみの処理量の昨年度との月別の比較について資料説明）</p>
加藤委員	<p>家庭系は5.8t 増えている。人口も毎年少しずつ増えているので今年度に限ったことではない。しかし、増えるというのは、非常事態宣言以降初めてだ。次の議題である処理計画について大きなテーマを与えられたのではないかと思う。前年に引き続き同じようなことをやっていけば、頭打ち若しくは増加するという可能性がこの中に秘められていると思う。</p>
清水委員	<p>経済環境が多少改善方向にあるというのは、ごみに影響するのか。</p>
大江会長	<p>経済状況は良くなっているので、他市ではかなり増えている。</p>
佐野委員	<p>一般論として、ごみはある程度まで減ったら、何もしていないとリアクションとして増えると言われる。この資料では何も言えない。</p>
渡辺委員	<p>傾向を見ると、今まで月別で見ても前年度同月よりも多いというのは、収集日が多い時だったが、今回初めて収集日が同じなのに、11月は前年度同月よりも多い状況になっているが、特殊な事情は考えられないのか。</p>
小野ごみ対策課長	<p>確かに今月は収集日が同じではあるが、曜日の多少のずれがあって、例えば何曜日だったらごみ量が多い日、何曜日ならごみ量が少ない日と地域ごとに多少の違いがある。その辺を勘案すると集めている地域の特性によって多少影響があると思う。</p>
加藤委員	<p>具体的には、数年前は5%の減量目標に対して5%以上を達成していたが、傾向的に年々下がっており、今年度は見通しが1.8%になっている。小金井市は、日本でもごみ量が少ないことではトップクラスだが限界に近付いていることは事実だ。このままの施策では、1%台にいくかいかないかという状況が今後続くということで考えなければならぬといけぬのは深刻だ。</p>
佐野委員	<p>今後、こういう議論をしていく上で、検討ができる資料がなければ難しい。</p>

審議過程（主な発言等）

	<p>燃やすごみが増えたことは分かるが、その中で何が増えたのか、どのような燃やすごみが増えたのか分からないと議論は難しいと思う。</p>
<p>渡辺委員</p>	<p>何が増えたのかについては、中身を組成分析しないと分からない。</p>
<p>簗口委員</p>	<p>燃やすごみの日に気になるのは、雨の日だ。近所で蓋つきのごみ箱で出している家庭が少ない。カラス除けの網はしているがごみが濡れている。雨水が全部ごみ袋の中に入っている。それを集める時に、例えば雨が続いた日は水分を抜いて量ればいいが水分も一緒に量っているのだと思うとごみ箱に蓋を付けようという運動を先にした方が確実ではないかと思う。雨の日の収集日が何日あったかのデータを調べれば随分違うと思う。水切りを推進しているのに、ごみ箱に蓋を付けようという一言を入れなかったために、雨の日の収集はどうなっているのだろうと常に疑問に思っている。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>1、2%のことを議論するのであれば、それは十分考えないとこの数字だけが独り歩きする。市民の努力によらないところに数字が動くということも大いに考えられる。小金井市だからこそ考えなければならない。</p>
<p>勝又委員</p>	<p>人口の増減も考慮しているようだが、家庭数とか、マンションの建築とかで増えているのではないか。その辺りの割合は出ているのか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>確かに人口は微増ではあるが増えているので、世帯数も増えている。市民課で世帯数等を押さえている。</p>
<p>大江会長</p>	<p>雨の日についてはいかがか。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>雨の日の定義については、いつの時点で雨が降っていたかという時間的な部分があると思う。布については、8時半直前で雨の場合は回収しないということをも市民に周知している。その時点で雨が降っているかないかを押さえることは可能だ。</p>
<p>簗口委員</p>	<p>それだけでも随分違うと思う。</p>
<p>佐野委員</p>	<p>検討する必要があると思うが、影響があるかどうか何とも言えない。</p>
<p>小野ごみ対策課長</p>	<p>曜日によって持ってくる地域が違うので、どこのごみが多いか把握している。そこにポイントを絞ってごみ減量をお願いしていくというのは、施策の一つの案としてはあると思うが、まだそこに至ってはいないので、できる限り色々なデータを集める努力をしたい。</p>
<p>大江会長</p>	<p>処理計画を作る時にはできるだけそういうデータがあって欲しい。データが出ないのであれば、燃やすごみの増減だけなので、動きについての情報でしかない。</p>

審議過程（主な発言等）

加藤委員	<p>限界に近付いていると思うのは、夏休み1か月間と毎週土曜日に小・中学校の生ごみ処理機に生ごみを市民が入れているが、両方とも持ち込みする生ごみが増えている。持ち込むことで生ごみの減量にはなるが、トータルで見ると増えているというのは、かなり大変だという感じがある。一昨日は処理機に入りきれない程生ごみがあった。</p>
渡辺委員	<p>意識の高い人は、非常に協力していると思う。しかし、そうでない人の燃やすごみとして集めているものを確認すると、恐らくかなりの量のごつがみ等が入っていると思う。だから、まだ減らしていない人に減らしてもらわないといけない。絞り切っている人はこれ以上どうにもならないというのがあるかも知れないが、まだ余地はあるのではないかと思う。多い所にターゲットを置いて、減らす啓発をするのが有効だと思う。</p>
大江会長	<p>加藤委員から生ごみの効果的な減量法について資料が提出されているので紹介して頂きたい。</p> <p>(加藤委員からの資料配布)</p>
加藤委員	<p>これは、市報のごみ減量・リサイクル特集号で繰り返し出しているもので、改めてということではない。効果的な生ごみ減量法として、生ごみを水に濡らさない、生ごみ受け皿は浅いものにする、お茶殻やコーヒーかすは水切りストッキング等が効果的、風乾・天日干しが決め手の4つがある。小金井はやっている人も多いが、この中の1つでも2つでも、出来れば4つやると燃やすごみの中の生ごみを減量できるということで、11月から12月にかけて水切りの実験をやってみたところ、減量率は半分以下になった。以前、ごみゼロ化推進会議でやった時は17%位だったが、やり方が統一していないこともあって、全く効果がなかった人とあった人がいたが、このような形で行えば効果があるので、ごみ減量がストップしている中で、市民が少し手間を掛ければ一番お金が掛からない。具体的にこうやればこのくらい減るということを是非市報に載せて頂きたい。データを取っている人も少なからずいる。市民の例を載せると参考になると思う。</p>
渡辺委員	<p>水を切るというのは、お金を掛けずに効果的に減らせるということにおいては、まさにそのとおりだと認識している。</p>
佐野委員	<p>このデータでは絞る量が多いと減量率が低くて、絞る量が少ないと減量率が多い。水切りネットでやる欠点だ。手で絞っても十分これだけの効果がある。だから、色々な方法があるだろう。水で絞るということがお茶殻では非常に有効だが、他のものではどうなのか。</p>
加藤委員	<p>確かにお茶殻以外のものでは、三角コーナーに溜めたものをしっかり押さえても水切りネットで絞ってもほとんど出ない。白菜やキュウリ等は90数%の水分があっても絞っても出ない。表面水は取れても中の水まで取れない。お茶殻やコーヒー殻は絞れば効果があるが、調理くずは絞っただけでは駄目だ。</p>

審議過程（主な発言等）

佐野委員	これを市報に載せるのであれば、こういうものはこういう方法でやると有効だと紹介した方が良くはないか。
渡辺委員	生ごみを徹底的に減らすのであれば段ボールコンポストが良い。簡単な仕掛けで分解してくれる。
松村副会長	ここにコーヒーかすというのがあるが、緑茶と違ってコーヒーかすは余りかびが生えないし、消臭剤でもある。知り合いの畜産農家では、業者から大量のコーヒーかすをもらって下に敷く。そうすると消臭効果があるし、堆肥になる。生ごみ全体を考えると微々たるものかも知れないが、家庭では、コーヒーかすを出す必要がなく、例えば植木鉢等に撒くと良い。
加藤委員	我が家では、コーヒーかすを天日干しして、生ごみにふりかけているが1週間臭わない。お茶も消臭効果がある。
大江会長	議題（4）一般廃棄物処理計画の策定（審議）については、次回にしたい。
佐藤減量推進係主任	今回は、1月29日水曜日午後0時半から中間処理場2階の研修室で行う。  閉会